

# EARTH FOODSのパッケージデザインとは？ 全体ストーリーライン



2025年関西・大阪万博の全体テーマは  
『いのち輝く未来社会のデザイン』です。

2025年関西・大阪万博の全体のテーマ

**いのち輝く未来社会のデザイン**

Designing **Future Society** for **Our Lives**

『いのちが輝く』とはどういうことか、  
8つのテーマで8人のプロデューサーがそれぞれ深掘りし、  
シグネチャーパビリオンとして表現します。



小山薫堂がプロデューサーをつとめる当パビリオンでは、  
その中でも『いのちをつむぐ』ということについて  
“食”を通じて考えてもらうきっかけをつくります。

いのちを  
知る

生命系全体の中にある私たちのいのちの在り方を確認する。

いのちを  
育む

宇宙・海洋・大地に宿るあらゆるいのちのつながりを感じ、共に守り育てる。

いのちを  
守る

危機に瀕し、人類は「分断」を経験する。「わたし」の中の「あなた」を認めるいとなみの行方に、多様ないのちが、それぞれに、護られてゆく未来を描く。

いのちを  
つむぐ

自然と文化、人と人とを紡ぐ「食べる」という行為の価値を考え、日本の食文化の根幹にある「いただきます」という精神を発信する。

いのちを  
広げる

新たな科学技術で人や生物の機能や能力を拡張し、いのちを広げる可能性を探求する。

いのちを  
高める

遊びや学び、スポーツや芸術を通して、生きる喜びや楽しさを感じ、ともにいのちを高めていく共創の場を創出する。

いのちを  
磨く

自然と人工物、フィジカルとバーチャルの融和により、自然と調和する芸術の形を追求し、新たな未来の輝きを求める。

いのちを  
響き合わせる

個性あるいのちといのちを響き合わせ、「共鳴するいのち」を共に体験する中で、一人ひとりが輝くことのできる世界の模式図を描く。

それが『EARTH MART』、  
食のあたりまえをリセットする、空想のスーパーマーケットです。  
『EARTH MART』には、食がいのちであることを見つめ直す「いのちの売場」と、  
新しい食べ方のヒントに出会う「みらいの売場」があります。



「みらいの売場で」展示されるもののひとつが、

「EARTH FOODS 25」、食の未来をより良くするため世界に共有したい日本発の食のリストです。

食材と、そのひとつひとつに込められた日本人の知恵や技術を、

ナレッジとして国内外に共有することで、

世界の食文化発展や課題解決への貢献につながることを目指しています。

EARTH  
FOODS  
25



1 米粉	2 餅	3 豆乳	4 高野豆腐	5 あんこ
6 大根	7 わさび	8 山椒	9 かんぴょう	10 こんにゃく
11 抹茶	12 香酸かんきつ (ゆず、橙、かぼす、すだち)	13 梅干し	14 椎茸・干し椎茸	15 昆布
16 わかめ	17 海苔	18 寒天	19 ふぐ	20 すり身
21 鰹節	22 麴・種麴	23 日本酒・本みりん	24 しょうゆ・みそ	25 野菜の漬物

そんな「EARTH FOODS 25」のパッケージデザインを公募しています。

選ばれた25個の食材や、その食材に込められた知恵や工夫が

**最も輝くパッケージデザイン**を考えてみてください。

※例えば、もっと自由に包んでみたり、もっと実用的にしてみるなど、

既成概念にとらわれることなく、あたりまえをリセットしデザインを再構築してみてください。

そのためには、その食材が普段どんな形をしているか、その食材にどんな歴史があるかなど、調べてみると考えやすくなるかもしれません。

EARTH FOODS の

パッケージデザイン

